

テーマ2

公共施設の再配置・管理運営を考えよう

第5回ワークショップ

2017. 11. 4 (土)

テーマ2の検討内容

「テーマ2 公共施設の再配置・管理運営を考えよう」では、策定方針に定める
シンボル事業2 スポーツ施設の管理運営の効率化 と
シンボル事業3 老朽化した施設の統廃合・複合化 の具体化に向け、
次の検討を行います。

第2回 公共施設の現状と課題

町には様々な公共施設があり、それぞれに課題があります。

まず、町の
✓ 公共施設の現状
を知っていただき、
✓ 課題
を話し合います。

第3回 公共施設の管理運営

町の公共施設は「予約しにくい」、「あまり利用されていない施設がある」など、サービス向上と管理運営の効率化が課題です。

町が課題解決策として検討している
✓ 利用方法の統一化
✓ 公民連携の導入
✓ 受益者負担の適正化
について考えます。

第4・5回 公共施設の再配置

町の公共施設は老朽化が進み、更新時期を迎えつつあります。
しかし、町の厳しい財政状況と将来の人口減少が予測される中で、全ての施設を維持することは難しく、施設の統廃合・複合化が避けられません。

公共サービスの維持・向上を前提として、
✓ 公共施設の将来像 と、
✓ 施設の統廃合・複合化
の進め方 を
シミュレーションゲームを通じて考えます。

第4～5回の進め方

● 公共施設再配置シミュレーションゲーム

第4回

- シミュレーションゲームを理解する
- 公共サービスの将来像を考える
- 公共施設の統廃合・複合化を考える



第5回

- 公共施設の総量削減を考える
- 公共施設の配置とアクセスを考える
- 廃止後の施設・跡地の活用を考える
- まとめと発表

第4回の途中経過

第4回(途中経過) 1班

ーコンセプトー

- ・町の中心に施設を集約化する。
- ・学校を統廃合し、地域の拠点にする。
- ・役場庁舎に様々な機能を集約する。
- ・学校の数を削減し、統合して新しくする。

建物規模ポイントの集計結果

	建物規模ポイント	削減ポイント
現在	540pt	-
目標	390pt	-150pt
結果	349pt	-191pt

地域の拠点として残す。

量を削減するかわりに、町の中央にある東大果樹園跡地に新しい学校を作って、学校の質を上げる。

役場を利便性の高いラディアンの立地に移転して、子育て支援、保健サービス、トレーニングルームと複合化する。



感想

- ・数値に気を取られて駅前がスカスカになってしまった。
- ・かつては小中学校が1校ずつだったので今回の結果も無理ではないと思う。
- ・数字は達成したが、減らしすぎた気もする。

一次回のポイントー

- ・駅前空間の使い方を再考する。
- ・役場庁舎跡地などの活用の方策を考える。

削減した施設・サービス

- 武道館
- 駅前町民会館 貸室・ホール
- 町民センター ホール
- 町民温水プール プール
- 袖が浦プール プール
- 町立体育館 貸室・体育室

1班

○駅前を子育て拠点に、町北部を地域の拠点に

- ・働いている人は、駅から町外へ行くことが多いが、高齢者は地域の中で活動する人が多い。
- ・駅周辺を商業施設など若い世代向けに開発し、北部は高齢者の拠点としてはどうか。
- ・車を持たない町外で働く人のためには、子育て施設が駅周辺に必要なと思う。
- ・駅周辺施設に子育て支援・保育、観光案内の機能があり、民間のカフェもあるとよい。



○学校を地域の拠点として活用

- ・学校を地域拠点とし、多世代交流の場にしてはどうか。
- ・小学校と保育園などを統合し、跡地には娯楽施設を誘致してはどうか。
- ・二宮西中の建物を有効活用したらよいと思う。
- ・学校施設を統廃合して、廃校を小学生や未就学児の交流の場としてはどうか。
- ・子どものためには、学校は複数学級あった方がいいと思うので統廃合を行い、廃校の利活用を考えたい。



○スポーツ施設の集約と効率化

- ・プールはコストが大きく、将来的な維持費が心配なため、民間に委託することも考慮すべき。
- ・現状として、プールは町外の利用者が多い。
- ・駅利用者のために、駅周辺に貸しスペースやトレーニングルームがあるとよい。
- ・町立体育館は海が見える好立地のため、観光拠点にしてはどうか。
- ・プールとトレーニング施設、あるいは、図書館とトレーニング施設を一つの場所にまとめると利用しやすくなる。
- ・施設数が少なくても、質のよい施設がある方がよい。



○災害のリスクを考えた施設

- ・地域集会施設は一時的避難場所となるため残すべきではないか。
- ・防災拠点は必要だと思われる。
- ・災害の危険性のある場所を避けて施設の配置をすべき。
- ・施設の統廃合をするのであれば、浸水被害などを考慮し、安全な場所を選ぶべきではないか。

第4回の途中経過

第4回(途中経過) 2班

ーコンセプトー

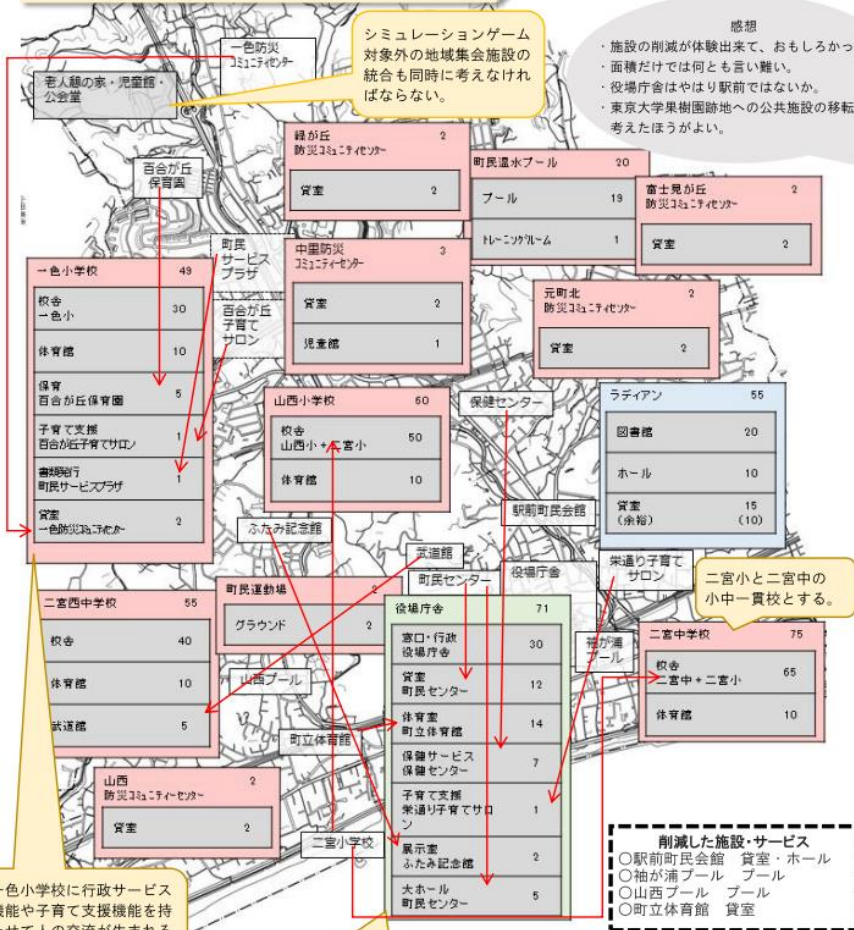
- ・ 利便性の高い駅前に機能を充実させる。
- ・ 現存の施設を極力活用する。
- ・ 学校を地域の拠点とする。

建物規模ポイントの集計結果

	建物規模ポイント	削減ポイント
現在	540pt	—
目標	390pt	-150pt
結果	398pt	-142pt

シミュレーションゲーム対象外の地域集会所の統合も同時に考えなければならぬ。

感想
 ・施設の削減が体験出来て、おもしろかった。
 ・面積だけでは何とも言い難い。
 ・役場庁舎はやはり駅前ではないか。
 ・東京大学東樹園跡地への公共施設の移転も考えたほうがよい。



一色小学校に行政サービス機能や子育て支援機能を持たせて人の交流が生まれる施設とする。

利便性の高い二宮小学校跡地に役場や体育館など様々な機能が集約された複合施設を作る。

一次回のポイント

- ・ 施設へのアクセスの仕方を考える。
- ・ 跡地などの活用の方策を考える。

2班

○まず役場から考える

- ・ 耐震に問題があるので、まずは役場の場所を考えるべきではないか。
- ・ 駅前の二宮小学校に役場をはじめとした機能を集約してはどうか。

○駅前が重要

- ・ 駅前の二宮小学校の跡に役場、体育館、駅前町民会館、町民センターの機能を集めてはどうか。
- ・ 保育園は駅前がよい。

○学校を地域の拠点として活用

- ・ 今ある小中学校の施設を最大限に活用し、他の施設を統合してはどうか。
- ・ 武道館を学校に集約してはどうか。
- ・ 二宮中学校はいい場所にあるため高く売れると思われる。
- ・ 小学校の空き教室利用で老人憩の家の機能を統合してはどうか。
- ・ 貸室サービスを学校に移動してはどうか。
- ・ スクールバスを導入すれば小中学校を統合できるのではないか。
- ・ 小中一貫校にしてはどうか。
- ・ 設備の面で小学校を中学校に機能統合した方がよい。
- ・ ふたみ記念館の展示を二宮小学校内に移設してはどうか。

○地域ごとに地域集会所を集約

- ・ そもそも児童館、老人憩の家は活用されているのか。
- ・ 比較的建物が新しいコミュニティセンターに、機能を集約してはどうか。

○文化施設の利用促進

- ・ ラディアンを子育て支援などに利用できないか。
- ・ 町民センターのホールはラディアンで代用できるのではないか。
- ・ ふたみ記念館の展示を役場に機能移転すると多くの人が見ることができて良い。



余裕教室の活用事例

【保育所への転用】

有住小学校(福岡県福岡市)



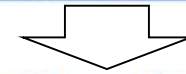
- ・転用施設名 こぐま保育園分園
- ・転用教室数 1階2室
- ・転用面積 167㎡

校舎1階の普通教室2室を保育所に転用している。

平成15～26年度までに、小学校8校で余裕教室を転用して保育所の分園を設置した。

【庁舎への転用】

大石南小学校(埼玉県上尾市)



- ・転用施設名 上尾市生涯学習課市史分室
- ・転用教室数 3階4室
- ・転用面積 537㎡

上尾市の歴史を編さんする分室と市史とその関連資料の保管場所として転用した。

市史編さん分室は専門職員のみが利用しているため、管理がしやすい。

余裕教室の活用事例

【社会教育施設への転用】

新栄小学校(埼玉県草加市)



- ・転用施設名 草加市新栄平成塾
- ・転用教室数 1階1室
- ・転用面積 約64㎡

地域の高年者のふれあいや生きがいつくりの場、地域の子供たちとの世代間交流の場として、サークル活動を行うための場として活用している。

【高齢者福祉施設への転用】

小倉小学校(京都府宇治市)



- ・転用施設名 小倉デイサービスセンター
小倉介護サービスセンター
小倉デイホーム
- ・転用教室数 1階4室、2階4室
- ・転用面積 968㎡+56㎡(増築)

日常的に小学生との世代間交流があり、年間行事を通じて1年生から6年生まで幅広く交流を行っている。